

## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																					
		事業担当課		森林整備課																					
事業名	予防治山事業（古内） <small>ふるうち</small>	補助・単独の別	補助	事業主体	県																				
施行地名	柴田郡柴田町入間田字古内地内 <small>しばたぐんしばたまちいりま だあごふるうち</small>			管理主体	県																				
根拠法令	森林法																								
事業概要	事業目的	<p>当該区域は、急峻な地形のうえ、森林の荒廃により表層崩壊を繰り返す要因を有している。特に台風等による豪雨を被ると山地災害が発生する可能性が高く、平成18年9月の豪雨により山腹崩壊が発生し、山頂の八雲神社の施設が傾く被害が生じた。流出した土砂は、中腹で止まり直接人家等への被害は無かったものの、現在までの間、度重なる豪雨による山腹崩壊が進行しており、直下人家及び町道、農業用水路への被害が懸念される。未だ山腹崩壊により発生した不安定土砂が堆積している状況であり、当区域の森林に対しては土砂流出防備のための公益的機能が期待される。</p>																							
	事業内容	山腹工 0.1ha																							
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ( )</th> </tr> <tr> <td></td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ 50 %]</td> <td>[ - %]</td> <td>[ - %]</td> </tr> <tr> <td>0.10億円</td> <td>内用地費 一億円</td> <td>0.05億円</td> <td>0.05億円</td> <td>一億円</td> <td>一億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ( )		[ 50 %]	[ 50 %]	[ - %]	[ - %]	0.10億円	内用地費 一億円	0.05億円	0.05億円	一億円	一億円
	全体事業費	費用負担内訳																							
		国	県	市町村	その他 ( )																				
	[ 50 %]	[ 50 %]	[ - %]	[ - %]																					
0.10億円	内用地費 一億円	0.05億円	0.05億円	一億円	一億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度（1年間）</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成 一 年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度（1年間）			用地買収着手予定年度	平成 一 年度	工事着手予定年度	平成23年度													
事業期間	平成23年度（1年間）																								
用地買収着手予定年度	平成 一 年度	工事着手予定年度	平成23年度																						
施設管理の予定	県が維持管理を行う。																								

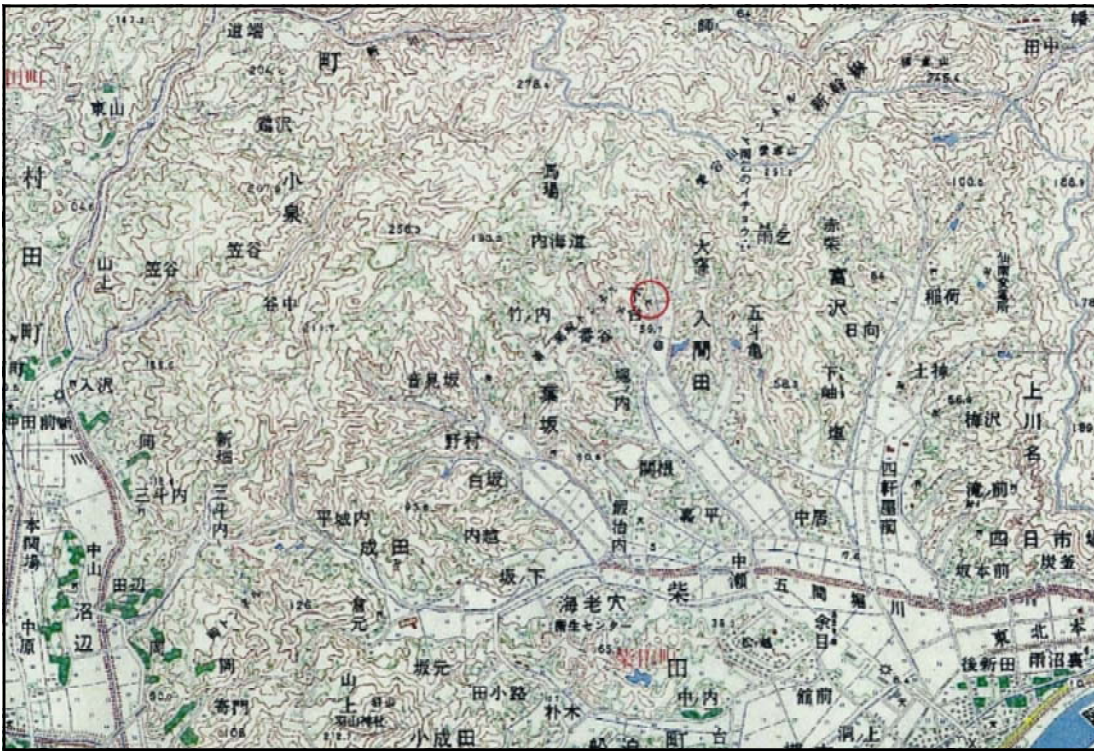
事業の必要性	上位計画等	<p>治山事業は、森林法に基づく「森林保全整備事業計画」により、豪雨等による山地災害を防止するとともに、これによる被害を最小限にとどめ地域の安全性の向上に資するため、保治山施設の設置と機能が低下した保安林の整備等を推進することとしている。</p> <p>県においても、「治山事業実施方針」により山地災害の復旧及び未然防止に努めることとしており、本地区で指定された山地災害危険地区での治山対策を推進している。</p>
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>* 災害発生時の影響 保全対象：人家1戸，公道200m，神社</p> <p>* 過去の災害実績 平成18年9月の豪雨により山腹崩壊が発生し、山頂の八雲神社の施設が傾く被害が発生、流出した土砂は、中腹で止まり直接人家等への被害は無かったものの、現在までの間、度重なる豪雨による山腹崩壊が進行している。</p> <p>○地元情勢、地元の意見</p> <p>* 地域の協力体制等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元自治体による山地防災パトロール等の実施</li> <li>・ 土砂流出防備保安林指定予定地</li> <li>・ 山地災害危険地区（山腹崩壊危険地区）指定地</li> </ul>
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>山腹工の実施により、山腹崩壊地を森林へ復旧するとともに、山腹に存在する不安定土砂を固定することにより、山地に起因する災害から直下に位置する保全対象の生命・財産などが保全される。</p>

事業の効	関連事業の概要・進捗状況等		
	特になし。		
	代替案との比較検討		
	山腹崩壊地を森林へ復旧及び山腹に存在する不安定土砂を固定するため、これら抑止機能を高度に発揮する山腹工（土留工・緑化吹付工及び法切工）を採用している。		
の	コスト縮減計画		
	現地で発生した支障木を吹付緑化の基盤材に再利用する等、詳細調査結果に応じて積極的なコスト縮減を検討する。		
率	費用対効果		
	<p>根拠マニュアル：林野公共事業における事前評価マニュアル（平成22年3月）</p> <p>社会的割引率： 4 %</p> <p>便益算定期間： 50 年</p> <p>基準年：平成23年</p>		
性	費用項目	建設費	9,231千円
		維持管理費	
		総費用	9,231千円
		現在価値（C）	9,231千円
	便益項目	水源かん養便益	385千円
		災害防止便益	37,872千円
		総便益	38,257千円
		現在価値（B）	38,257千円
	費用便益比（B/C）		4.14

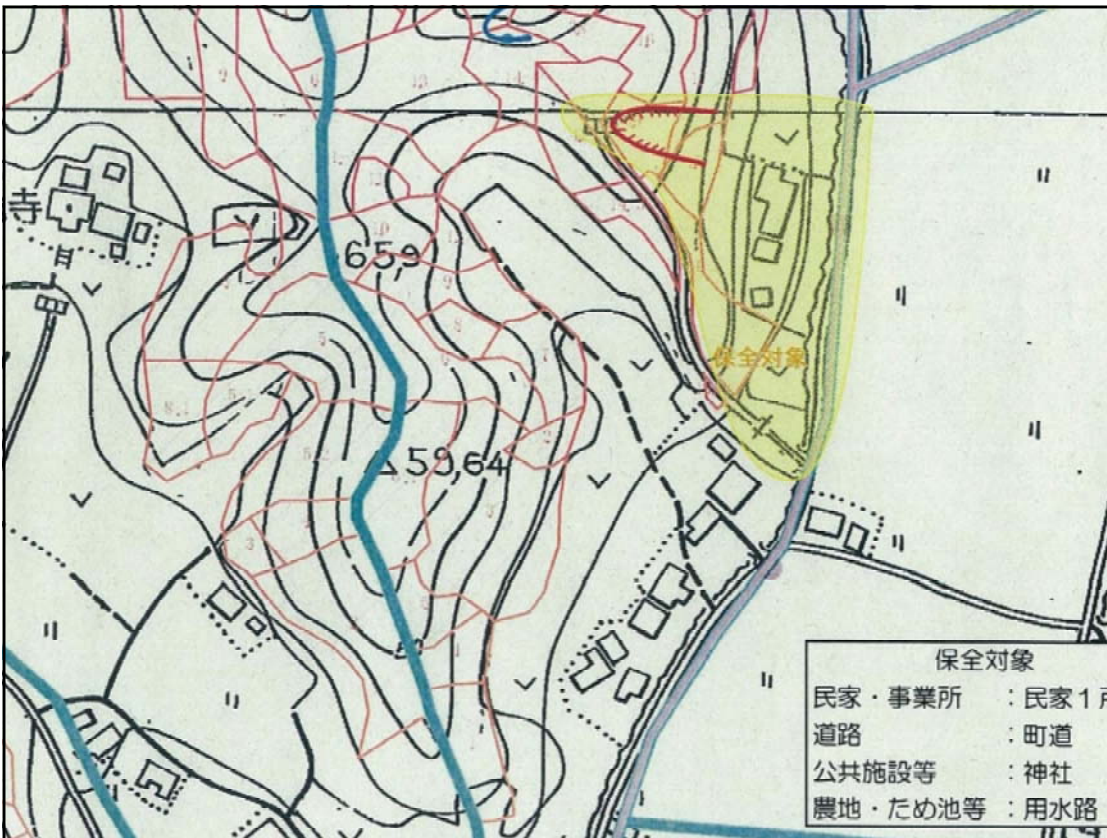
環境への影響と対策	地域指定状況等										
		特になし。									
環境への影響と対策	影響と対策										
		環境への負荷の低減，自然環境の保全等の観点から，現地で発生した支障木を吹付緑化の基盤材に再利用する等，県産材を積極的に利活用する。									
総合評価	事業箇所評価結果										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予防治山事業（新規事業箇所）</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5位／7</td> <td>6箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	予防治山事業（新規事業箇所）		—	5位／7	6箇所	
	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
	予防治山事業（新規事業箇所）		—								
5位／7	6箇所										
総合評価	対応方針										
		事業実施									

(参考資料)

位置図



平面図



現況写真



- ※1 平成18年9月の豪雨により山腹崩壊が発生し、山頂の八雲神社の施設が傾く被害が発生、流出した土砂は中腹で止まっているが、今後の豪雨等で下流に再流出する懸念がある。